

## 朝日さくら小学校 学校統合地域説明会 会議録

令和7年1月23日(木)15:00～ 於：村上市総合文化会館公民館ホール

参集者：区長会8名・学校運営協議会4名

市教委 開会のあいさつを教育長の遠藤よりさせていただきます。

市教委 1月も下旬になりましたが、皆様あけましておめでとうございます。本日はご多用の中、道足の悪い中、朝日さくら小学校、学校統合地域説明会ということで、足をお運びいただきありがとうございます。これまで朝日地域の3つの小学校の学校統合をどうしたら良いかという事で、教育委員会としては2段階の学校統合、先に小川小学校と朝日みどり小学校、何年かした後に朝日さくら小学校、という事で、2段階の統合を提案させていただいたわけですが、3校同時に統合した方が良いのではないかというご意見をいただいております。そこでまず朝日さくら小学校、猿沢保育園の保護者の皆様に計4回お集まりいただき、慎重に保護者の皆様の考えをお聞きし、判断を仰ぎました。大分遅れたのですが、こうして今地域の皆様にその経過、結果をお伝えして、ご賛同いただけるのかどうか意見交換をさせていただきたいと思ひまして、本日この会を設けさせていただきました。限られた時間ではありますが、どうか皆様の忌憚のないご意見を賜りたいと思ひますので、よろしく願いいたします。

市教委 (事務局自己紹介)

市教委 では次第に沿って進めさせていただきます。学校統合について、朝日地域の進捗状況、情報共有につきましては、12月13日朝日地区の区長会にお邪魔し、途中までお伝えしました。1月10日学校運営協議会の会長及びコーディネーター研修会があり、そちらでも一部情報提供させていただきました。(重複する部分もありますので、)この度、さくら小学校の保護者の方向性が決まってきましたので、地域に説明させていただくというところです。

資料の1をご覧ください。先ほど教育長が申し上げました通り、朝日地区の学校統合については、小川小と朝日みどり小が先に統合し、朝日さくら小が後に統合する、いわゆる2段階の当初の計画ということで進めさせていただき、中ほどの8月27日、小川小学校と朝日みどり小学校の合同統合検討会を開催しました。その中で3校同時期の統合について可能かどうか教育委員会で再度検討して、可能であればさくら小学校の関係者に意向を伺うという事になりました。学級数については、令和9年度の想定で3校同時であれば、資料の4、予想学級12、通常学級が8、特別支援学級が4ということで、12学級が想定されます。これに対しまして、既存の学校の部屋の数を申しますと、小川小とさくら小については8部屋、みどり小学校が10部屋あるということで、みどり小が有利であるということで、事務局で再検討しまして、朝日みどり小学校の施設であれば、9年度に想定される12学級の不足する2部屋を内部の一部の改

装で確保できる見込みということで、9年度に実現が可能となってきたところでした。再度資料1、これにより10月17日、さくら小学校と猿沢保育園の保護者にお集まりいただきまして、意向を伺う説明会を開催したところ、参加人数が21人と少なく、なかなか議論が深まらず、再度さくら小学校の方向性について保護者アンケートを取りましょうということになり、アンケートを実施いたしました。結果については、資料の2、右上の方になります。このアンケートにつきましては、3択ということで、令和11年度以降いわゆる2段階というところと、3校同時、どちらとも言えないの3択で実施させていただきました。結果については、資料の2の右上にある通り、小学校の保護者については11年度以降が、3校同時よりも多く、保育園の保護者としましては、11年度以降より3校同時が多いという結果でありました。合計しますと、11年度以降・2段階、3校同時と判断するのに非常に難しい結果になりました。このアンケートも踏まえ、2段階か3校同時かということで方向性を決定していただきたく、再度11月28日に第2回目の保護者説明会を開催したところですが、こちらも参加人数が少なく、方向性を決定するに至らなかった。次の開催にあたって、PTAとも参集方法や決定方法について検討したところ、本来であれば大勢集まった中での決定が理想ではあるが、なかなかPTA総会をやっても集まりが悪いということで、投票形式、意向調査票で欠席者からは事前に提出いただく方式。集落の総会で言う委任状になるもの、投票の形式にしましょうということになりました。また主催についても、PTAと保育園の父母の会、連名の主催ということで、出席、事前の意向確認の提出などもSNSを通じて提出関係をしていただくということで12月21日に決定会という形で、実施させていただいたところでした。12月21日、当日の出席者につきましては28世帯。事前の意向確認書は62世帯ということで、出席率としては91.8%。投票結果につきましては、2段階が49票、3校同時が36票という結果でした。最後にこの方向性を出席者で確認しまして、合意となったところです。決めてとなった理由につきましては、2段階ということで、先生の目の行き届く人数規模が望ましいのではないかという意見、いきなりの大勢のクラスには子どもが心配ですという状況でした。3校同時についても、先に統合したところで友人関係が出来、後で加わる時が大変なのではないか。3校同時の対等な関係が良い。少人数ではその分関係が密になりなかなか入っていけない子どももいるのではないか。子どもも保護者も大変なため、一度が良い。などの意見もありましたが、結果としては2段階という結果になりました。

資料3、資料4、検討会及び決定会で使ってきた資料を添付させていただきました。裏面にも教室の状況の写真、みどり小学校であれば想定される状況、さくら小学校の現在の状況、例えば神納小学校32席ある状況だとこのような感じなるということをお伝えさせていただいてきたところです。なお、事前にお配りさせていただいた決定会の会議録でお伝えさせていただいておりましたが、2段階にはなったが、令和12年、13年頃にはさくら小学校でも複式が発生する見込みであります。またその想定に向けて、令和9年、10年頃には統合に向けて検討に入らなければならないということはお伝えし、ご認識をいただきました。説明については以上です。地域の方からご意

見いただければと思います。よろしく申し上げます。

参加者 2つの観点というか、切口で意見を述べ、見解を求めていきたいと思っています。その前に経緯についても触れたいと思います。さくら小学校の説明会が7月にあったと思う。8月には朝日の市議員の方々が3校同時で統合という要望を出したというのも聞いています。9月に朝日地区区長会の役員会、暮れの区長会でも色々意見が出ました。時間が無い中で、尻切れトンボのように終わったと認識しています。他にもいろいろな方々の意見が教育委員会に届いていたということも聞いています。そこで出た意見について教育委員会は何も検討もフィードバックしていない。市議会議員に聞ききました。回答来たか聞いたが、何もなかったと。そういう声を聞いて、検討してフィードバックしてもらえてないということを書いたかった。そういう意見を踏まえて、二つの切り口で意見を述べたいと思います。一つは、7月の時にも言ったが、小川小とみどり小が先に一緒になることについて話をしてください。さくらは後で話しましょう。このように話をしていた。この二つの案で計画をなげかけていくと、その話しがしませんよね。なんで朝日地区の学校の在り方みたいな観点で、全体で議論できないのか。なぜ二つの案で、今までその話で来ているのか。3校同時も可能ですよと言っていました。3校同時ということになりましたけど、これも加えて考えてくださいという問いかけをしましたか。しなかったですね。あくまでも当初のまんまの形で、2校同時、さくらは後でどうですかで来てますよね、それはなぜですか。2つにした考え方は何故ですか。3校同時も可能ですよと言ったにもかかわらず、それを皆さんに見解を図ってこなかったのはなぜですか。

小川小とみどり小、さくら小と計画を作ったのはどういう考え方ですか。全体のあべき姿はどうしようかとか、子どもの数とか保育園児の数とかそういう状況を提示して、どうした方が良いでしょうかねみたいなのにはしなかったですよ、それは何故ですか。最初から二つに分けてきましたよね。それは何故ですか。

市教委 一つは、ノープランでは教育委員会の意向はどうなんだというのがあります。あくまでたたき台ということで示させていただいたということでもあります。

参加者 どういう理由で二つに分けた形の計画にしたのかということです。

市教委 2段階というのは朝日の校舎では3校同時だと入らない。今、3校同時となると大きな施設、増設したりというのはこのご時世、またすぐにクラス数も減ってしまうし、理解してもらえないということで、対応施設が可能な2校を先に統合して、さくら小学校を後にという2段階を打ち出させていただいた。

参加者 それはその後、統合すれば運営経費が下がると思うが検討なぜしないのか、検討してくださいって区長会の役員会でもいいましたよね。その後の結果は聞いてないけど、財政課は改築なら良い。下がる経費もいっぱいあるから、増築ということも財政

に提案したらどうですかと言ったが、検討したのかどうかもその後回答もない。その後、3校同時も可能ですと言っていた。それを前回しなかったのはなぜですか。3校は最初は出来ない。3校は可能ですと言ったときに、その案も踏まえて考えてくれませんかという諮ることをなぜしなかったのか。

市教委 お金の面もありました。今の神納小学校、神林が統合する際に2階建て4部屋増築しました。エレベーターも設置しました。そこでは5億かかりました。今の時代なかなか大規模なお金をとということで、最初打ち出したわけですが、3校同時を見た時に、みどり小学校であれば増築はせず、内部の変更だけでどうにかなりそうだとということで、財政当局から内部の変更だけであればという見解をもらい、さくら小学校の保護者に説明に入った。

参加者 それは分かってるけども、もう一回新たにこういう案も出来ますよという話を皆さんにお諮りしなかったのは何故ですかと言っている。

市教委 教育委員会としては2段階の統合を計画していましたので、特に小川小、朝日みどり小の合同検討会の場で、一緒に出来るのではないかと、それを探ったのかとご指摘されました。そこで、先ほど写真でも教室の様子をお見せしましたが、なんとかやろうとすれば出来るんじゃないかという考えを持つことが出来ました。教育委員会としても。でもそのためにはさくら小の保護者の皆さんには、2段階だという事でご説明していましたので、まずさくら小の保護者の皆さんの声を、猿沢保育園含めお聞きしようとして、それでこれまで4回、まず保護者の皆さんに教育委員会としてはこういう考えも出来るが、いかがですかと説明してきた。その結果をもって、今回地域の皆さんにも、保護者の皆さんこういう考えですよという事をご説明にあがっている。手順としては、完全ではないかもしれないが、時間もかかりましたけれど、踏ませていただいていると判断しています。ご納得いただけませんかでしょうか。

参加者 あくまでも最初の計画を変えずに、他の意見は入れないで

市教委 いえ、そういう事ではございません。

参加者 次の観点で言います。決め方の観点で行きます。保護者で、さくらの方向性を決定する会の開催もどうかと思っている。なぜかという、保護者の意見を聞くと、デメリットメリット言ってますけど、感染症対策が必要だとか、目が届きにくいだとか、物理的にはそうなるのかもしれませんが。遠くなると時間がかかるだとか、そういった影響があると思います。2校か3校かのメリットデメリット、そういう5人か10人前後増えるとかのデメリットの意見という、ちょっと浅いような気がする。さくらの小学校の保護者は、自分たちの子ども達がかかわらない時期の話をしているので、意識が薄い、真剣に考えていないという風潮があるという声が聞こえてきている。そう

いう保護者だけで決めて良いのか、さくら小学校の方向性。学校というのは、住民で成り立っていると思っている。なので、地域の声をなぜ聞かないのかというのを最初から言っている。地域の声の代表している有効なひとつに、集落を代表している区長がいる。青少年育成会議も私は関りがあるから、それらの意見を聞かないで、小学校の保護者、保育園の保護者だけで方向性を決めるのか。地域の声は大事。保護者というのは我々からすると、ごく一部。住民の世の中で暮らしている中で。さっき言ったように自分たちの子ども意識が薄いと聞こえてくるから、保護者だけで方向性を決めて良いのか。地域の声をなぜ聞かないのかと思っている。地域の方に聞けば、必然的に統合しなければいけない状況であるから3校一緒のスタートが望ましいと聞いている。これから関わらなくなるような保護者だけで決めて良いのか。どうして地域の声を聞かない。前から言ってるが、聞いてもらえてません。こういう進め方をしてきました。どうして地域の声に耳を傾けないのか。

市教委 地域は確かに学校にはなくてはならない。地域の文化など、そこで育っていく子ども達でありますので、地域はなくてはならないと思う。地域から見れば僅かな保護者とおっしゃいますが、第一番には保護者、学校ですので、その子を持つ保護者の意見を聞いていかなければいけないのかなど、優先順位をつけるわけではないが、まず保護者の意見を聞いてきた。それと、保護者の意見の観点が薄いだとかいうところも、PTA方と協議しましたし、小学校の統合の計画ですので、次世代の保育園の保護者についてもご意見を伺ってきた。なかなか参加はいただけなかったが、保護者の同意、協議を頂きながらやってきましたし、令和9年になると子どもが卒業して学校には居ないという保護者も確かにあるところもずっと協議してきましたが、いなくなるからと言って、安易な捉え方はしないでとおっしゃっていましたし、私たちも当然、そうでしょうねと言うところでご意見を伺ってきたところです。順を追って今こうやって地域説明会を踏ませていただいているということになります。

参加者 そうでなくて、決定する会だって保護者で決めたんでしょ、どうしてそこで方向を決定するんですかっていう話。どうしてそういう形にしたんですか。地域の人も入って決めないのかという話。

市教委 市教委としては、先ほどもお伝えしました通り、子ども達の方を軸足、一番聞いていかなければならないのかなというところで、保護者の意見を優先させて、次の私たち市教委としてはこういう方向に行きたいんですけどということで、今回開催した。

参加者 なんで一緒にしないんですか。

市教委 ご指摘の通りです。本来なら、小川小学校もみどり小学校も、統合検討会という組織を作りました。そこにPTAも入るし、区長の皆様の代表の方も入るし、学校運営協議会のメンバーも入ったりする中で合意を得て、小川小とみどり小の合同統合検討

会に進んでいいよという合意を得て進んでいる。ところが、さくら小学校の場合は、説明会という事で最初設けましたので、そこから進んでいない。本来なら、統合検討会という場を持って、保護者と地域の皆様が一つになって、開催して、そこで決定すべきなんです。だからご指摘の通りだと思います。

参加者 説明会じゃなく、統合検討会にしないんですか。

市教委 それは教育委員会が2段階の統合を進めようとしていたので、朝日さくら小学校は統合検討会の対象になっていなかった。今年度。だから説明会という形で、さくら小で開かせていただいた。

参加者 ずっと(地域の)意見を聞く場を開いてくれと言っている

市教委 最初、色々な意見が出たが、一応教育委員会としてはさくら小校区の皆さんの意見は聞いたということで、2段階の方向で進めていこうとして、小川小とみどり小の合同検討会に進んだ。またそこでフィードバックされたので、新たにさくら小の保護者の皆さんにお諮りして、その結果を踏まえて今地域の皆様にも説明して

参加者 説明してるだけでしょ。(聞き取れない部分あり)

市教委 それでご納得いただけないとなると、正式に統合検討委員会を設けて、その場で判断しなければならないと思います。

参加者 さくら小学校の方向性を決定したって言ってるじゃないですか。何でそういうやり方をするんですか。保護者だけで。それでいいんですかっていう事を言っている。違うんじゃないですか。昨日、館腰区長会では市長に要望書を提出しています。館腰区長会の趣旨は3校同時で要望しますと。その場合、時期は別として中学校施設で要望しました。朝日地区の在り方、保育園、小学校、中学校も含めての朝日地区全体の観点でのビジョンとして要望しました。私、高根地区にも聞きました。小学校のPTAはそもそも複式になっているので、早く解消してくれということでした。それはそれでよいかもしれない。高根の区長会はどういう考えだったか聞いたら、3校同時で、朝日さくらの方向を待っているところとの事。保護者の意見だけで方向を決めて、みどりと小川はその結果を待って、それでいいと決めるとなっている。他の色々な意見を言っても聞こうとしない。どう思いますか。おかしいでしょ。こんないっぱい意見を。保育園の親、保育園のアンケート結果を見てください。保育園はかかわってきます。3校同時というのが多い。小学校より保育園の方が3校同時が良いという数字が多くなっている。そういう状態で決まりで良いのか。どうしてそういう方法をとるのか。なんでみんなの声を聞かないのか。

市教委 だから今回、お聞きするために開催している。

参加者 何の会ですか、説明会。統合委員会にすれば良かったんです。途中からでもいいから。説明会開催で説明して終わりですか。それがなんだっていうんですか。この説明会というのはどういう説明ですか。

市教委 いろんな方のご意見を伺うために開催した。

参加者 意見言ったら聞いて何かするんですか。対応してくれるんですか。

市教委 いろんな方のご意見をお聞かせください。

参加者 聞いて、今までも言ってるけど対応してこなかったでしょ。全然。最初の予定通りに進んでいる。

市教委 そんなことはないです。これから小川小学校とみどり小学校の合同検討会2回目開きますけど、

参加者 役員会の時も来たけど、7月のさくらの説明会は、ほぼ合意なんてしなかったはず。都合のいいようにねつ造しているように見えます。小学校の保護者も参加してましたけども合意なんてしてないです。

参加者 説明会の議事録はわたしも見てないですけど、（聞き取り不明部分あり）。教育長が明日、小川小学校で統合検討会があるため賛同してくださいとあり、不信感を持っていた。なんのための説明会なんだと。これまで、しっかり周知して、色々な意見を聞いて、その中で進んできたのかと感じている。さくら小で同意してもらわないと、明日の小川小の検討会に入る、2校同時に進めないから同意してくださいとのことだった。

参加者 今回、保護者で決めるのはいかなるものですかって言っている。今日は意見を聞いてどうするんですか。

市教委 色々な声をお聞かせください。

参加者 決定されたんでしょ。方向性。

市教委 保護者の方向性は決まりました。

参加者 保護者のね。

市教委 はい、保護者の。

参加者 さくら小学校の。それ終わって、みどりと小川は待ってるって言ってますよ。方向性の決定を。だが最初の通りの進め方になっている。

市教委 保護者の皆さんが、3校同時より、2段階が良いと言っている。

参加者 それは分かってる。それでいいんですかって言ってる。

市教委 それを尊重しないっていうこともあっていいんですか。

参加者 尊重はしないなんて言ってない。もっといろんな意見を聞いて、均整を図るべきじゃないですか。保護者だけで決めてますよねということ言ってる。

市議会議員だって言ってます。館腰地区・高根地区も言っている。皆さんどうですか猿沢地区・塩野町地区。この前余談になりますけど、区長会が終わった後、忘年会をした時に、年寄り黙ってろ、そんなことにはまってるなど言った人もいる。とんでもない話だ。区長を侮辱している。失礼だと私は言いたい。地域を代表して一番色んな人がかかわっている存在。地域の意見を採用するなら区長の意見は大事だと思う。青少年育成会やいろいろな団体があり、保護者に聞いてもいいんです。だが、保護者だけで決めようとしてるから、いかがなんですか言ってるんです。みなさん、どうですか。

参加者 2校（小川小とみどり小）の方向というのは、統合検討会ということで、区長はじめPTAとか総合的に判断している。あとから、3校同時の話が出て、さくら小学校の人はどうですかと話が出て意向は出ている。さくら小としての方向性を決める過程で区長会もはまってどうですかと聞かなかったから、片方（小川小・みどり小）は区長もはまって決めて、さくら小は区長会は全然はまってないという、そういうお話だからどうなんだ？と。この決定について改めて仕切り直しするんですかということだと思う。その辺の見解をお聞きしたいと思います。

参加者 館腰の区長会が、市長に昨日要望してます。日付は1/17になっているが、市長は、地域の皆さんと相談してやってくださいねと教育長に言ったと聞いている。

参加者 統合の話を出す段階で、3校みんな一緒になるので、最初から3校の話で、なおかつ3地区の区長、関係者の方も含めて進めていけば丁寧だったかなと今思っているところです。重複しますが、わたしも3校同時が良いかなと思っています。その辺り教育委員会では保護者のアンケートをもって基本路線として、2段階での学校統合を進めていくことを保護者にも通知していて、あとで統合するさくら小学校については吸

取合併というか、このような事も伝わっているようです。2段階の統合となるとさくら小の統合は令和12年か、になると思うので、現在の子ども達はほとんど卒業している。当然ながら大半の保護者はかわりが無くなる。その中でアンケートということだが、大半は今ままでいいと思う方が多いと思う。私も保護者の立場であったらそう思うと思う。このアンケートのみをもって方向性として進めるには、教育委員会としては少し乱暴かなと。保護者としては当然必要だと思うが、関係なくなる保護者もいるので。そうではなくて、アンケートと並行して、今日は説明会ですけど、検討会として、やはり地域の主だった方の意見を聞いて、教育委員会の方針とすればよかったのかなと。そんな風に考えております。もう1点は、2段階となると当然後から統合するさくら小学校の児童、そういう子を迎える側も精神的な負担が多くなって、今問題になっている不登校やいじめ問題も当然心配だし、次に統合する時となるとさくら小学校の人数が少ない状況になるので、その辺については教育委員会としてはどのように考えているのか。今後、この話を進めていく上では小川小とみどり小だけでなく、当然さくら小学校の子ども達も将来一緒になるので、保護者、関係者も同時に含めて検討していったほうが良いと思うが、どのようにお考えか。

市教委 保護者としての方向性は出たけども、地域の方も含めて検討したらどうだという意見ということですね。

参加者 (聞き取り不明部分)

参加者 最初の案だけを通すんじゃなくて。ずっとそのまま。色んな意見があがってるのに。区長会でも言ってる。市議会議員も要望してる。それをその意見を取り入れようとしな。この路線で走っている。

市教委 確かに、そうは見えるかもしれないですけど、親御さんの気持ちというのはないがしるには出来ないと思いますし、先ほど区長さんが言われた不登校対策についても、人数が余計になれば確かに先生方の目も届きにくくなる。強引に一気に統合させて、一クラスの人数が仮に多くなったとして、例えばなかなか馴染めない子が多かったりしたり、いわゆる不登校みたいな子が増えたりすると、やはり私たちもそこらへんは気を遣っていかなければならないというところもあり、今の実際の親の世代の方にご意見を伺っていかうというところで来たわけです。

参加者 大事です。1つより2つ、3つになれば増えるのは当たり前。それも50人、100人増えるわけじゃないので、大勢で学ぶのも教育の一つ。多様性。大きなお友達、仲間勉強して遊ぶのも大事な事。集合に時間がかかるなどの意見でなく、こんなのを踏まえて決めようとしてるから、それだけじゃいかなものですか。

市教委 それでも保護者は色んな意見を出してくれました。その上で総意というか、合意を得たんです。

参加者 いい意見もあるし、まともなデメリットも言ってます。いいですよ。それだけで決めるんですか。もっと広く合意形成をはからないのか、と言っている。二つに分ける必要ない。小川小・みどり小・さくら小と全体で話せばよい。7月から言っている。こういう児童数想定、設備の情報、学校の状況踏まえてどういう方向を目指しましょうかねっていう位から始めれば良かったんですよ。そうしてくれって7月の時から言っている。2段階のその話しかしない。さくら小は後でいいよねってその話できている。朝日全体の話をしていない。保育園の在り方も同じはず。しりすぼみなんですよ、下に行くほど子どもの数は。保育園は未満児もいっぱいいるから数はそれなりにあるかもしれないが。中学校施設の使用も館腰区長会のみなさんが言ったように。朝日地区としてどういう形が望ましいかという話をしていない。それなしで2つの案でこれでやってください。それはいかがなものですかって最初から言っている。教育委員会は聞く耳を持たない。

参加者 私が思うには、2校合併してあとからもう一校さくら小学校合併する場合、子どもに非常に負担がかかる。だから合併する時は3校一緒に合併した方が良いと思う。そうしないと、先に合併した人たちがかたまっているから、そこに新しくさくら小学校の人が入った場合、どう対応するのか。だったら最初から合同で合併した方が良い。体操着も揃えられるし。3校一緒の方が良いと思う。

市教委 それも保護者間で十分話し合いました。

参加者 時期をずらしてでも3つの方がメリットは大きいと思う。館腰だって待ってる。

参加者 3校一緒の方が良いと思う。

市教委 いろんなお考えがあるのは重々わかります。

参加者 踏み出し方が早かったのかな。今のみどり小学校の複式学級になっているという話。最初いろんな話を伺った時に、選択肢がないからそういう話で伺っていたので仕方ないと思っていた。今聞いていると、3校一緒の方が良いのか。あとから行くととなると劣等感とか、児童が肩身の狭い思いをするという事も考えられるので、3校統合が望ましいのかなと思います。

市教委 教室の写真、もう一度ご覧ください。

市教委 これは決して教室が混むという事の為に、3校一緒じゃ無理だという事をお示した写真ではございません。3校一緒でも入るのではないか、机を並べて検討してみろと教育委員会が学校の協力を得て、試しに並べてみたところです。そして保護者の皆

さんにもお見せしました。今、区長様方言われたように3校一緒が良いのは私だってそう思います。と思いますが、中学校の校舎を使用するというのは置いておいて、どこか3つの学校の内一つ、一つとすれば一番広く部屋数があるのはみどり小学校であると。それで、並べてみた。そしたら保護者の皆さんが色々な意見をお持ちの方もいらっしゃると思いますが、やはりこれでは、今のさくら小学校さんの置かれている環境からみるとよろしくない。そういう判断をされた。それについて、まずどうお考えですか。

参加者 12年頃、2校が先行した場合には、この問題は解消するんですか。大幅に教室の中に入るといのが改善できるのですか。

市教委 一応、2段階の場合、令和13・14年度頃と教育委員会としては考えております。

参加者 ずっと先ということなんですね？

市教委 だから今、朝日さくら小学校が折角軌道に乗って良い子ども達を育ててもらってますよね。だからもうしばらく、開校してから10年くらいはそっとして、というのも変な言い方ですが

参加者 思ってませんよ。さくらの人達、13年、14年なんて。

市教委 そう説明してきました。

参加者 11年、12年だと思ってますよ。

市教委 いえいえ。

参加者 みんなそう思ってます。

市教委 みんなとは誰の事をさしているのか分かりませんが、

参加者 それは、この問題が解消するまで待つという事ですか。

市教委 いえ、こういう状況でも良ければどうぞということ伝えてきた。

参加者 教室で、2校だと余裕がある訳ですが、3校でも年々人数が減っていくが、統合を先送りすれば35人より少なくなる、この大きな人数を解消できるということなんですよ。

市教委 令和13年度で一番多い学年だと33人。

参加者 33人。じゃあ2人しか変わらない。令和13年でも解消できるという話にはならないのではないか。

市教委 今、色んな通常学級と特別支援学級在籍の子が居て、給食を一緒に食べるとかなると、令和9年度だと4年生は42人が集まることになる。5年生は43人。

参加者 二つにすればいいのでは。

参加者 一つにしなくていいでしょ。

市教委 先生の数が足りません。

参加者 なんでよ。一緒になるんでしょ。2つだろうが3つだろうが一緒になるんでしょ。

市教委 一緒になったからと言って、教員の数が増えるという事はありません。学級数に応じて教員数が配置になる。

参加者 減るんじゃない。先生方の数は。  
じゃあ減らさないようにすればよい。

市教委 配置の基準が決まっていますので。

参加者 じゃあ基準を言ってくださいよ。この間も言ったけど、市独自の配置にしますとかって言ってましたよね。介助員だか。

市教委 そういう職員を配置できるけど、学級担任を出来るような教諭という形では配置できませんので。

参加者 何人から2つに出来る？

市教委 36人からです。

通常学級の子どもが36人居れば2学級になります。そういうのはきちんと2学級になりますが、例えば令和9年度、42人想定されるんですが、通常学級は33人、特別支援学級は合わせて9人です。すると9人除いて、通常学級は33人です。そうすれば1クラスです。でも給食を食べたりするとき、他の道徳の授業とか、体育や、音楽は42人になってしまう。3校同時だと。

参加者 2つにしないんですか。

そしたら集める必要ない。2つに出来ないんだったら。違いますか。言ってることが分からない。

市教委 通常学級ではこういう基準になっているんです。35人で1学級。同じ学級の中で、特別支援学級に在籍の方もいる。わたしらの学校の時は、がんばり学級とって、まるきりそっちの方で色んな事、授業してきましたけど、今は交流学級とって、

参加者 35に入ってるんでしょ、その数。

市教委 入ってないんです。なので、

参加者 じゃあなんで集めるの

市教委 今は交流学級とって、通常学級の方と色々交えてやりましょうという方針になってきている。なので、

参加者 そしたら42になるっていうんでしょ。そこではなんで2つにはなれないんですかって話ですよ。

市教委 先生が居ないからです。

参加者 話を整理したいんですけど、どうも聞いてると教育委員会は2段階、という考え方に聞こえるんですけど。今日はどういう会なんですか。

市教委 猿沢保育園、さくら小の保護者の説明会でも同じような意見が出されました。その上で、保護者の皆さんがやっぱり2段階が良いんじゃないかという判断をされたわけです。それを今、皆さんにぶつけているわけです。どうお考えですかと。

参加者 それに対して3校同時って言ってるじゃないですか。

市教委 私が冒頭にお話ししたように他の学校と同じように、統合検討委員会を新たに設置して、その場で最終的に2段階でいくのか、3校同時にするのかを決定しようと、

参加者 それだったら3校で統合検討会をするとか。3校で一緒の話をしましょうよ。それをなんでしないですか。あくまでも二つに分けてるんでしょ。

市教委 それは、まずそれぞれの学校で統合に向けてOKをもらった。小川小学校も、みどり小学校も。

参加者　　こういう風に進んでくださいってしたからこうなってるんですよ。2つの統合の話をしてくださいって。最初から3校集めてやったらどうですかって言ってるんですよ。

市教委　　当初の教育委員会、市議会でも説明した案が2段階の統合計画だったんです。だからさくら小学校は説明会という形で開催した。

参加者　　変えればいいじゃないですか。なんで変えないんですか。

市教委　　だから今説明させてもらってるんです。

参加者　　見直せばいいじゃないですか。見直しする努力をしてないでしょ。3つ一緒にやって統合検討会やればいいじゃないですか。これ、結論ですよきっと。そういう方向に向けて努力しなさいよ。

市教委　　そのためにはまず、さくら小学校の統合検討会という組織を作って、さくら小学校の学校統合をどう考えますかということを決めていかなければならない。

参加者　　統合検討会、2つの合同でやってるんでしょ。1つで統合検討会ですか？

市教委　　まず、さくら小学校の保護者の皆さんと地域の皆さんの意見をかためてほしいというんです。

参加者　　そんなことしなくても一緒にやればいいじゃないですか。同じテーブルで、なんで3つ一緒に合同で出来ないんですか。やってくださいよ。

市教委　　それはまず手順を踏んで3つの学校の

参加者　　その手順を見直してくださいって言ってるんですよ。

市教委　　出来ません。

参加者　　なんで出来ないんですか。こんなに皆さんが伝えているのに、なんで出来ないんですか。見直せばいいじゃないですか。

市教委　　すべての村上市のエリアで、まず一つひとつの学校の統合に向けた意見を聞いて、合意形成をはかっているんです。

参加者　　それはあなたたちが準備した形での統合検討会でしょ。広く集めた形で合同でやっ

てくださいって言うてるのに、なんでダメって

市教委 その前にさくら小学校の皆さんの総意をかためて欲しいと思います。

参加者 だからそれはあなたが進めてる中身でしょ。そうじゃなくてみんなで合同で話しましようよ。

市教委 だからそういう意見に総意でなれば、3校の合同検討会に進みます。

参加者 他にも聞いてくださいよ。今ここではそういう意見だったですよ。

参加者 小川小・みどり小の2校の方は統合するのはOKだと、進んでいる訳ですよ。わたしはさくら小学校の方も3校同時でどうですかねと来ている訳ですよ。じゃあ、このさくら小学校が区長さんはじめ、一定の方、検討会してじゃあ3校我々も一緒に入りましようとなった場合、改めて3小学校合同の会議をもって進めるとこういうことですね。

市教委 おっしゃる通りです。

参加者 それであれば、わたしは結構だと思います。

参加者 小川小・みどり小の方にも言ってくださいよ。

市教委 そうなると、一旦進捗を止めてもらいます。

参加者 2校で進めるのではなく、3校で話しましようよと投げかけて下さいよ。あなたたちもさくらと一緒に話をするのでどうですかって投げかけてください。今までは2つの事しかしてなかった。2つの統合の事しかしてなかったけど、3つの統合を

市教委 それはおっしゃる通りです。あちらの2校の話し合いは一旦止めます。日取りは設定しましたけど。

参加者 はい。4日にあると聞いている。

参加者 そこで話をしてくださいよ。そういう話もあるけど、みなさんどうですかという話をしてくださいよ。

市教委 さくら小学校の意見がかたまっていない状況で、そんなの嫌だと言われれば。

参加者 さくら小の意見がかたまらないと出来ないんですか。

市教委 出来ません。

参加者 3つの話をなんで出来ないんですか。最初から言ってるじゃないですか。分けてしないでって言ってきたでしょ。そもそもが。

市教委 そもそもがそれでも、2段階として提案してきているので、それをまず3校同時という考えに。

参加者 提案を見直す努力をしてますか。さっきから何回も言ってますけど。他の意見を聞こうとしてますか。してないですよ。どうみてもしてない。最初の予定通りに進めます。やめます。埒があかない。

参加者 今いろんな話で、2段階で進めてきたんでしょうけど、館腰区長会の話を見ると、3校同時が望ましいという意見、要望しているみたいですね。それを踏まえて、もう1回検討したらよいのではないのでしょうか。2段階で進んでましたが、おかしいんじゃないかという意見がありますので。

参加者 高根地区も3校が良いって言ってますよ。私が聞いたところによると。

参加者 さくら小学校で統合するかしないかまず決めないと、後から頼みますなんて言えなくなる。ほかの2校と一緒に、3校合同で、今後、統合やるかやらないか、進まないと思う。

市教委 その通りだと思います。

参加者 向こうもその意思を確認しなきゃいけないじゃないですか。これでいいですか？と話をしてくださいって私は言っているんです。小川にもみどりにも。

市教委 向こうは、さくら小学校さんも含めて3校同時が良いんじゃないですかって、合同検討会で提案していただいたんです。だからまずさくら小の保護者の皆さんに説明を繰り返してきたんです。だけれども、やっぱり2段階にしてもらえないかと言われたので、その結果を今日地域の区長様方にもお話して、それで良いのかどうかという事をご了解得た上で、向こうの会に臨みたかったんです。でも今、いっぱいご意見出たように、いややっぱり3校一緒が良いというご意見が多数だと思いましたので、それならば何度も言いますが、一番上のさくら小のところだけは説明会となっているんです。それを正式な統合検討会という組織を立ち上げて、そこで決定していただいて、次に進みたいと思います。そのためには多少時間が掛かりますけど、決して令和9年

度に何が何でも統合しなければ駄目だとは思っておりませんので、時期についても含め、また使用校舎についても含めて検討していけば良いのではないかと考えております。

参加者 小川小も複式はとりあえず置いておくっていう考え方で良いんですね？時期は9年に限らないという事は、最初は小川が複式になるのを9年度にしていると言った。それはじゃあ置くんですね？そういうことでいいんですね？小川小の複式解消で、9年度統合にしたけど。そういうことでいいんですね。

市教委 よくはないです。

参加者 言ってることが分からない。

市教委 昨日、市長への要望書で、館腰区長会は令和11年度という事を言っているので、

参加者 保護者もそれで良いという事を言っている。教育委員会もいいんですね？9年度にこだわらないんですねって事を今わたしは確認をしている。区長会は11年度に中学校という事を言っている。

市教委 一点、これまで説明してきた中で、統合前加配について、県の教育委員会、国の方針が変わりまして、統合する年度、例えば11年度に統合するとなると、これまでは1年前に複式解消の教員を一人付けると説明してきたんです。それが、2年前から付けるという風に国が変えた。なので、11年度に3校統合となる時、9年、10年に複式解消2年間、加配教員がもらえる。

参加者 心配ないわけだ、小川については。

市教委 仮に、このままの制度であれば。

参加者 分かりました。そういう時期も含めて選択肢はあるということ

市教委 そうです。だからさくら小の場合も、例えば令和12年に複式が出来るんだったら、仮に14年度に統合すれば、12年度、13年度は複式は解消できると。だから14年度でも良いのではないかと。そういう考え方も出来ます。

参加者 分かりました。そういうことでいきましょう。

市教委 他、よろしいでしょうか。

市教委 修正というか、さくら小学校の統合説明会、誰も小川小とみどり小学校の合同、さくら小学校では誰も納得しませんでしたという話だったが、後ろの方ではPTAの方々、地域の方は前の方に居て、PTAの方は後ろの方に居たので、区長様方後ろの方は見えなかったかもしれないが、中には後ろの方で、「うんうんうん」と言っていた方もいたところもありますので、決してねつ造とかではないとご認識ください。なんでも100%同意というのはなかなかないと思いますし、その中で進ませていただきたい。

参加者 断定しなきゃ、断定。

参加者 説明会と検討会ってどこが違うんですか。合意を求めたと、説明会なのに合意って

市教委 2段階の統合で、朝日地区の小学校の統合を考えていいですか？ということの説明会で、さくら小校区の皆さんにお諮りした。

参加者 説明会で、こうなりますよってという説明があって、反対の意見となれば、小川小学校での検討会はどうなったのか。

市教委 小川小学校の検討会に間に合わせるために説明会を行った訳ではないです。たまたまそういうスケジュールになっただけで、それはお許しください。

市教委 わたしどもの検討会と説明会の言葉の定義は、説明会はこの流れでやらせていただきますし、合同検討会というのは、次の段階へ進むための構成員の選出を同意いただいたり、というところの役割分けをしています。

統合検討会の人数については、PTAの役員方と地域の区長様方全員ではなく、いわゆる三役さん方に案内申し上げてました。

参加者 全員にしてください。全員。何役員で。

市教委 あと学校運営協議会

参加者 全員にしてください。PTA役員だけなんですか。保護者で決めたんじゃないですか。全員集めればいいじゃないですか。

市教委 おっしゃる通りですが、9年度に向けて今年からやってきたのは、朝日ばかりでなく、村上地区もやっている。基準を統一するために役員方、地域の役員方ということでもさせていただいた。おって、さくら小学校がみんなでやりましょうという話になるのであれば、そのように開催させていただく。

参加者 大勢の方がいいって。

市教委 区長様全員。

参加者 大勢の方が良いと思います。意見を集約するには、役員3人じゃなくて。

市教委 保護者も全員声掛けて良いですか。

参加者 何人もいないじゃないですか。あとまちづくり協議会、運営協議会

市教委 学校運営協議会さん、あと青少協。

参加者 その辺もいいかもしれないけど、保護者と区長は全員で、私はお願いしたいと思います。

市教委 どのくらい集まるか分からないけど、保護者が仮に100人来たとします。

参加者 100人はいないです。

市教委 保育園の保護者も入れれば。まあ、仮にですよ。たまたまいっぱい来た。区長さんの数がこれくらいだった。じゃあ言い合う中で、多数決で決めようとなった場合、保護者の意見が強くてやっぱり2段階で決めようとなったらどうしますか。

参加者 多数決ってあんまりにも早すぎない？多数決。大した差ないですよ。多数決ありきってやめてもらいたい。まず色々な意見を議論を交わすことじゃないですか。親や地域の代表であろうが。最後は多数決なんてどうか。

市教委 保護者説明会、4回も開いたんです。多数決で決めたくなくて。

参加者 だからそれは集まりが悪いからですよ。集め方が足りないんですよ。十何人しか集まらないとか。80人、90人いる中で。

市教委 だから委任状というわけじゃないけど、90何%まで

参加者 最後はそうなるかもしれないけど、多数決ありきみたいなのはやめましょう。

市教委 それは賛成です。

市教委 では、さくら小学校の統合の検討会という事で、さくら小のPTAの方と、保育園

の父母の方と、地域の方と集まっていただいて、一度方向性を出すという会を設けさせていきたいと思います。小川小とみどり小の方には、進行を止めて連絡を取らせてもらいたいと思います。ただ、たった今保護者としての方向性は出てしまいましたので、全体のさくら小としての統合の検討会、年度内にやらせてもらいたいと思います。またおって皆様に連絡させていただきます。よろしくお願いいたします。次第でいきますと、今後の予定。しばらくその方向によって決められないので、保留とさせていただきます。資料1の裏に、資料5、令和9年度を目標とした流れのスケジュールであります。

他、よろしければ閉じさせていただきたいと思います。長時間、ありがとうございました。